

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2015 年 5 月

IEC/TC89(耐火性試験)シカゴ会議

IEC/TC89 の国際会議が 2014 年 11 月 3 日～6 日、アメリカのシカゴで開催された。参加国は、米国、英国、ドイツ、イタリア等 9 か国で、総勢 23 名の参加があった。日本からは、IEC/TC89 国内委員会の香月幹事（(独)製品評価技術基盤機構）及び春原（ポリプラスチック(株)）の 2 名が参加した。

今回会議から PT60695-1-14(着火と燃焼エネルギー源のクラス分け)、PT60695-2-14(最終製品のグローワイヤ着火温度)、PT60695-11-5(ニードルフレイム試験)という 3 つのプロジェクトチーム会議が新設された他、WG11（火災放出物）、WG12（着火と燃焼の広がり）、AG13（TC89 戦略）、PT 60695-1-13（製品 TC に共通の耐火性クラス分けガイダンス）および TC89 全体会議が行われた。以下、TC 全体会議の審議結果を含めた各 WG 及び PT のトピックスを、プラスチックに関係のあるテーマを中心に述べる。

1. WG11 会議（燃焼生成物、ガイダンス、用語及び火災安全技術）

(1) IEC 60695-1-12（火災安全技術）

FDIS 投票中（11 月 14 日締め切り）。

(2) IEC 60695-1-30（プリセレクション試験手順の選択）

改正作業が開始された 1CD を作成後に次回会議で審議される予定。

(3) IEC 60695-8-2（発熱量－試験方法の概要と適用）

マイクロカロリーメータ試験方法（ASTM D7309）が追加され、FDIS 投票中（11 月 14 日締め切り）。

2. WG12 会議（着火と燃焼の広がり）

(2) IEC 60695-2-11（製品のグローワイヤ燃焼性試験方法）、2-12（材料のグローワイヤ燃焼性試験方法）および 2-13（材料のグローワイヤ着火性試験方法）

2-11 は改訂版が、2-12 及び 2-13 は追補版がそれぞれ 2014 年 2 月に発行された。

(3) IEC 60695-2-20（ホットワイヤ着火性試験方法）

プロジェクトチームで試験再現性向上を目指した技術変更を継続検討中。全体会議で 2014 年 12 月 31 日までに結論をまとめ、チームが NP を出すかプロジェクトを廃止する選択をする事が要請事項として決議された。

(3) IEC 60695-10-2（ボールプレッシャー試験方法）

改訂版が 2014 年 2 月に発行された。

(4) IEC 60695-11-2（1kW 試験炎による試験方法）

改訂版が 2013 年 12 月に発行されたが、試験ガス流量計の精度を巡って修正票又は追補版の検討を進めることになった。次回会議で詳細審議予定。

(5) IEC 60695-11-5 (ニードルフレーム試験および指針)

プロジェクトチーム進捗内容を審議し、2CDに進む事が決議された。

(6) IEC TS 60695-11-11 (火炎からの熱流束による着火性試験) : 本規格は日本提案。

DTS 投票中 (11月21日締め切り)

(7) IEC/CD 60695-11-20 (500W試験炎による燃焼試験)

FDIS 投票中 (2015年1月9日締め切り)。

(8) IEC/CD 60695-11-40 (火炎確認試験のガイダンス)

日本からの提案に基づいて1CDに進む事が決まった。

4. その他

PT 60695-1-13ではIEC/TC61(家電機器の安全性)が定めた規格(IEC 60335-1)に含まれるグローワイヤ試験に基づく着火危険性クラス分けを、PT 60695-1-14ではIEC/TC108(オーディオ・ビデオ及び情報技術機器の安全性)が定めた規格(IEC 62368-1)に含まれる延焼危険性クラス分けを、其々IEC/TC89の扱う基礎的な耐火性ガイダンスに位置付ける事を目的に、耐火性専門家との協議が活発化している。全体会議では、両PTが作業原案に対するコメントをIEC/TC89発行規格を引用する各製品TCに宛て募集した後、次回会議でCDに向け審議する事が決議された。

次回の会議は2015年5月27日～29日に、東京(千代田区紀尾井町)で開催される予定である。

報告 :

日本プラスチック工業連盟 電気材料安全・規格委員会
特別委員 春原 淳 (ポリプラスチック株式会社)

以上